



総務常任委員会

10月24・25日

愛知県豊橋市、西尾市

健康福祉常任委員会

10月23・24日

石川県金沢市、富山県富山市

## 地域公共交通の課題解決を

## 生活環境常任委員会

### 公共交通の利便性を向上させる取組み 愛知県豊明市

多摩市では、平成16年に策定した「多摩市交通マスタープラン」に基づき、公共交通サービスに関する取組みを推進してきました。

今後の人口減少社会の到来や多摩ニュータウンの再生など、社会情勢や地域を取り巻く環境の変化に対応するため先進的に地域公共交通に取組んでいる、愛知県豊明市のデマンド型交通「チョイソコとよあけ」を視察しました。

#### 地元企業協賛のビジネスモデル

チョイソコとは、地域の交通不便を解消し高齢者の外出促進に貢献するもので従来のデマンド型交通と異なり民間企業が事業主体となり地元企業による協賛を得ることで採算性を向上し、従来の運行システム提供に留まらず高齢者の健康増進につながる外出促進の取組みです。

利用方法は会員登録された方からスマホアプリまたは電話での乗車依頼を受け、コールセンタースタッフが利用者の情報を確認し最適な経路と乗り合わせを計算して、目的地まで乗り合い送迎で運ぶ仕組みを実現しています。

また、停留所は慣れ親しんでいる場所、団地集会所やゴ

ミステーションなど200m毎に細かく設置されており、停留所には協賛している地元企業のPRが掲示されるなど協賛企業に対して配慮もされていました。

多摩市でも、市民ニーズに合わせた移動の利便性を向上させ「健幸に暮らせるまちづくり」を持続可能にしていくためにも、行政だけでなく民間活力を含め取組みを進めていきたいと思っています。



### 期待される自動運転バスの運行をめざして 岐阜県岐阜市

路線バスなどの公共交通機関は、高齢化による運転手不足が問題になっており、採算が取れない路線の廃止なども見られ、路線の現状維持が困難という課題を各自治体は抱えています。そうした社会的課題を解決する手段として公共交通への自動運転バスの導入が期待されています。

#### 市民に受け入れられる自動運転とは

岐阜市は、駅前再開発道路空間を活かしたまちづくりを進めており、未来の公共交通として自動運転バス「GIFU HEART BUS」を2023年11月から2028年まで5年間継続運行する日本初の取組みが、全国的にも注目されています。多くの人に乗車してほしいという視点から車体デザイン・内装を公共交通のデザインに多く関わる著名なデザイナーが手掛けています。

一年経たずに当初の想定を上回る4万人以上が乗車している「GIFU HEART BUS」は、岐阜駅から市役所までの中心部ルートと岐阜駅から観光地を周遊するルートを行

行しており、乗車は電話予約に加え、LINEも活用し、空席があれば予約なしでも乗車可能となっています。

多摩市でも今後人口減少や高齢化社会が進行する中、持続可能な公共交通ネットワークの構築をめざし、運転手不足対策などの課題に対する解決策として段階的に取組みを進めていくべきだと思います。

